

福山医療生協組合員活動ニュース

NO. 12

2021年 12月 28日

発行：福山医療生協 組織部

合同支部長会議を開催12支部20名が参加！

2年ぶりに、年金一揆宣伝行動に取り組み！



合同支部長会議を12月15日（水）樹徳公民館で開催しました。最初に、乃美専務理事の開会挨拶の後、宮澤組織部長が、1日に必要な塩分は1,5gであり、「すこしお」の生活習慣が重要であることを講演しました。質疑応答の後、生協強化月間の取り組み、大腸がん健診推進月間について提起がありました。その後、各支部から、初めて訪問行動に取り組んだこと、大腸がん健診の取り組み、子ども企画でしめ縄づくり、フレイル学習への参加、2年ぶりの支部グラウンドゴルフ大会開催等の報告がありました。課題として、運営委員会の減少や、100歳体操への参加の減少が出されました。まちづくり委員会から、3つの署名（国保、後期高齢者、介護）のお願いがあり、健康づくり委員会から健康チャレンジの報告、春のウォーキングが4月1日井原リフレッシュ公園に決定したことののお知らせがありました。最後に、福田常務が閉会挨拶を行い終了しました。



写真左…年金一揆宣伝参加者

12月15日、2年ぶりの年金一揆宣伝行動に取り組みました。福山医療生協、年金者組合、生健会の8名が参加しました。年金者組合は、安心の年金制度と生存権裁判チラシをティッシュに入れて250組配布しました。医療生協は、社保協が取り組んでいる「国保制度の充実を求める請願署名」（3月議会に請願）に取り組み、ハンドマイクで宣伝しました。短時間でありましたが、20筆集まりました。